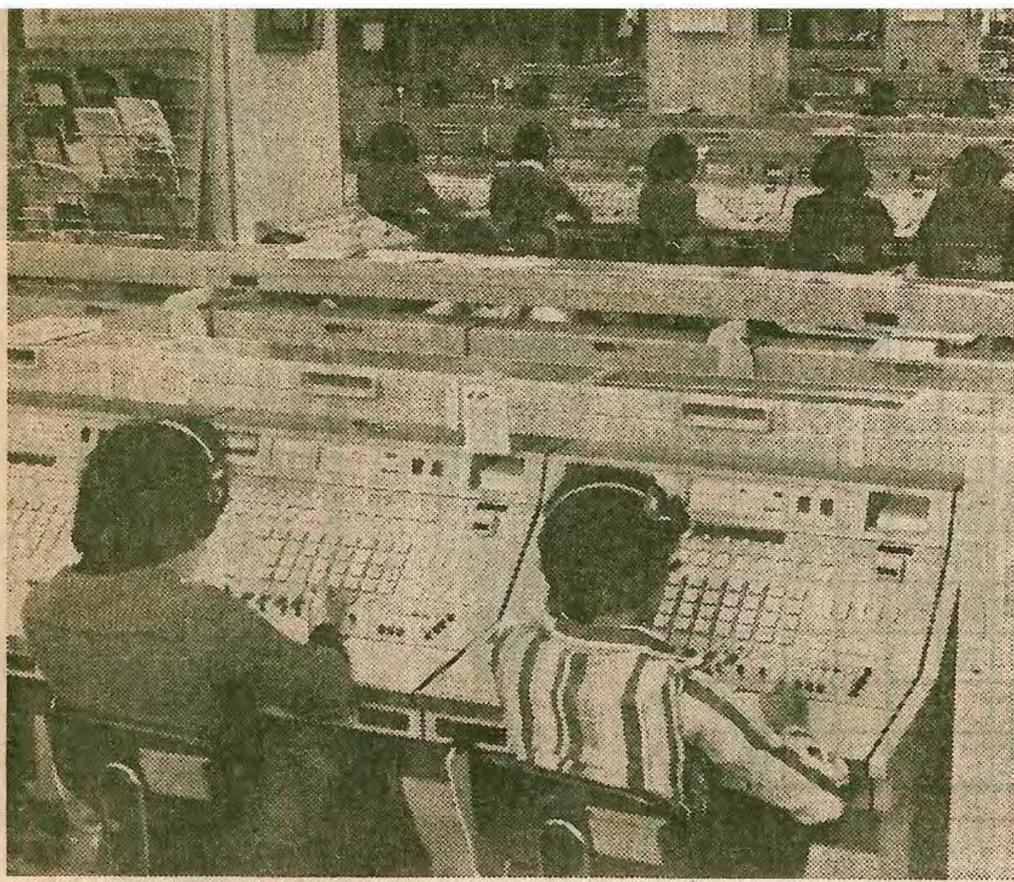


交換手うっかり中継

協定なく出来ぬ業務

国際電電

北京と台北間の電話が東京経由でつながった、と十日朝の新聞などで報道されたが、この「歴史的通話」は、東京の交換手のミスによるものだった。この報道に仰天した国際電信電話会社の調べでわかったことで、東京・大手町の東京国際電話局の交換手がつかり中継して、北京からの通話を申し込み通り台北へつないでしまった、という。国際電電では「中国と台湾間の通話に際しては何の協定もないので、中継してはならない」と全交換手に改めて指示するほどのおどりが、この騒ぎで、パリ経由での北京—台湾間の通話が、すでに簡単に済むようになっていたことがわかった。北京側では「中継地さえ承諾してくれば、台湾との通話は（世界各）国を経由していてもOK」ともいっており、交換手のうっかりミスが、最新の国際情勢を知らせるきっかけにもなったようだ。



交換手の「歴史的」ミスが起きた東京国際電話局の交換台

交換手をほめたい

「ラムニスト・青木雨彦氏の話
あたり前のことかも知れないが、北京と台湾の間で通話が出来るといって聞かされた点で画期的な出来事だ。ミスをおかした交換手さんを大いにほめてあげたい。これがきっかけで、中国と台湾の通話がどんどん増え、友好につながれば、この交換手さん歴史に残りますよ。原爆のボタンを押し間違えれば人類滅亡、とミスを恐れることが多いが、人間、時にミスもやらなければダメかな。人間の頭の融通のきかぬさを機械が教えてくれた、ともいえるが、やはりミスという人間の行為がなければ今度のことにはなかつた。今

通話できるのはねえ

「参議院議員・野末陳平氏の話
交換手のミスとはいえ、実際に通話が可能だったという事実が驚きでしたね。われわれ、夢にも想像しなかつたもの。常識よりも世界の動きが速いのか、ほく自身の見通しがまるで違っているのか、どちらにせよ、中国と台湾の将来に對する、われわれの常識が覆されることになるわけだから。それにしても、われわれはこうして客観的に見ていられるけど、台湾の人たちが知ったら、どんな反応を示さるう。あの米中条約でさえ、台湾では大混亂だとい

統一考えるのは幻想

「中嶋謙雄・東京外語大学教授現代
中国論の話 米中正常化以降、北京は台北に感に秋波を送っているが、現実の国際政治の中で、統一がそんなに生やさしいものではないことは、ちょっと考えればすぐ分かること。第三國を通じて北京と台北で通話が可能としても、かけているのは外国人だけではないか。政府間のホットラインがあるとか、民間同士が通話できるような空気はないはずだ。今度の事件で、そんなことを想像する人があれば、全くの幻想だ。統一は、当事者同士が解決すること。日本人が間に入ってうまくいくとか、

北京の新たな陰謀

「台北十日【AP】台湾当局は十日夜、北京—台北間に電話が通じたという報道について「北京の新たな平和的、政治的陰謀である」と述べた。報道資料で明らかになったもので、「台湾当局は、台湾の人々に向けて、開放され自由な社会環境を利用して浸透、破壊、妨害などを試みる北京の企てに注意するよう呼びかけた」となっている。

双方の間の国際電話を中継するには、北京、日本、台湾の三者の間でその旨をうたい、料金の配分などを決めた協定が結ばれていないければならないが、現在、もちろん、そんな協定はなく、電話はつながるはずがない。郵政省からの指示もあつて、十日、国際電電は

パリルートは健在

【北京十日【近藤特派員】東京
経由の北京と台北をつなぐ電話は、日中間の協定外のこととして、中継しないことを日本側は改めて指示したが、北京—台北間の電話は世界各地を経由して現在可能であり、北京の国際長距離電話局では「中継地の相手さえ承諾してくれば、いつでもOKだ」と話している。

【北京十日【近藤特派員】東京
なるようにになり、電報を打つことも可能になっているという。記者（近藤特派員）は十日午後五時四十五分（日本時間同六時四十五分）に、九日に続き、再び台北の知人（日本人）に電話を入れたが、申し込んで四分後に通じた。音声は明りようで、あいにく知人は留守だったが、お手伝いさんは、台北でもこちらの音声は明りようだと答えた。北京の国際長距離電話局によると、この電話はパ

【パリ十日【鴨志田特派員】パ
リの国際電話局担当が十日述べたところによると、パリ—台北間

陶器の真写真
独特の真写真
変な商品
不変の真写真
永久の真写真
写真館

〈たばこのマナー〉
吸いからは
必ず消して灰皿に。
電話ニュースは
03 540 1212